学校番号	T1208

平成31年度　　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	改訂　新編生物基礎（東京書籍）						
副教材等	なし						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

生物について遺伝子、恒常性、生態系、という3つの視点から見ると、どのように見えてくるのかを学び考えてください。

また、日常生活と関連付けて、身近な自然の事物・現象についての理解を深め、基礎学力の向上に努めてください。

２ 学習の到達目標

日常生活と関連づけて生物や生物現象への関心を高め、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養い、基礎学力の充実をはかる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、学習する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に見る技能を身に付けている。	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	出席状況 学習状況の観察 プリントの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 プリントの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 プリントの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 プリントの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元（題材）の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="3">前期</td><td rowspan="2">生物の特徴</td><td>生物の共通性</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td rowspan="2">a:生物の多様性と共通性、に関心を持ち、意欲的に学習しようとする。
b:生物の多様性と共通性について考察し、導き出した考えを表現している。
c:生物の多様性と共通性に関する探究活動を行い、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。
d:生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解し、知識を身に付けている。</td><td rowspan="2">出席状況
学習状況
プリント
定期考査</td></tr>
<tr><td>生命活動とエネルギー</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">遺伝子とその働き</td><td>生物と遺伝子</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td rowspan="3">a:遺伝現象とＤＮＡに関心を持ち、意欲的に探究しようとする。
b:体細胞分裂の前後で遺伝情報の同一性が保たれていることを考察し、導き出した考えを表現している。
c:「生物と遺伝子」に関する探究活動を行い、方法を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。
d:ＤＮＡの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解し、知識を身に付けている。</td><td rowspan="3">出席状況
学習状況
プリント
定期考査</td></tr>
<tr><td>遺伝子の均等配分</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>タンパク質の設計図</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">後</td><td rowspan="3">生物の体内環境の維持</td><td>体内環境の維持</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td rowspan="3">a:体内環境について関心をもち、意欲的に探究しようとする。
b:病原筋などの異物を認識、排除して体内環境を保つ仕組みを考察し、導き出した考えを表現している。
c:「生物の体内環境の維持」に関する探究活動を行い、方法を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。
d:体内環境の維持に自律神経とホルモンが関わっていることを理解し、知識を身に付けている。</td><td rowspan="3">出席状況
学習状況
プリント
定期考査</td></tr>
<tr><td>体内環境を保つしくみ</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>体内環境を守るしくみ</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
</table>

期	生物の多様性と生態系	植生の多様性	○	○			a:気候とバイオーム、生態系のバランスについて関心をもち、意欲的に学習しようとする。 b:「生物の多様性と生態系」に関する事象を考察し、導き出した考えを表現している。 c:生態系と物質循環について資料収集などを行い、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解し、知識を身に付けている。	出席状況 学習状況 プリント 定期考査
		気候とバイオーム				○		
		生態系とその保全		○	○			

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現
c：観察・実験の技能　d：知識・理解

※　原則として一つの単元（教材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。